

センコーGHD・1Q、主力の物流軸に出足好調

Edited By LogisticsToday On 2018/08/10

センコーグループホールディングスが10日発表した、2019年3月期第1四半期（4-6月期）決算は、主力の物流事業を軸に全部門で好調な滑り出しとなった。

主力の物流事業は、前年度に開設した大型設備の増収効果、日用品や食品、アパレル商品、ケミカル品の新規拡販、安全輸送の期間差影響などにより、売上高が911億100万円で8.7%の増収。

商事・貿易事業は、貿易事業や石油販売の増収、オクムラの期間差影響などで売上高354億7200万円（3.8%増）、その他事業では、ライフサポート事業会社の連結子会社化による増収などで売上高27億9100万円（75.3%増）と、主力以外の部門でも好調に推移した。

■2019年3月期第1四半期

	累計（百万円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	129,365	8.2%	
営業利益	4,697	22.6%	3.6%
経常利益	4,856	22.8%	3.8%
純利益	2,919	53.6%	2.3%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/323392>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.